

スタッフコラム

結婚記念日と聞いて皆さんが最初に思い浮かべる記念日はありますか？25周年の銀婚式や50周年の金婚式などよく耳にされるのではないのでしょうか。結婚記念日発祥の地とされるイギリスでは、1周年の紙婚式から15周年の水晶婚式までが1年単位、それ以降は5年単位で70周年のプラチナ婚式まであり、数え方は年齢と同じで結婚した年を0年とし翌年が1周年の記念日になります。今回はそんな結婚記念日にまつわるお客様のお話です。

喪主になる奥様から亡くなられたご主人様の事を伺った際「亡くなる2日前に病室で誕生日を迎えたばかりで、今年の12月で50年金婚式だったのに…」と感慨深くお話をされていました。結婚されてその後お互い別々の道を歩む方、病気で先立たれる方、夫婦の歩みも様々です。50年という長い歳月を共に過ごされてきたご夫婦…。奥様のご様子から短い言葉ではありましたが、その言葉の中にご家族の深い絆と温かさを感じることができました。葬儀をするうえでお祝い事をするのは嫌厭しがちですが、ご家族のこの想いを形にすることができないものかと考えました。金にあやかた物は用意できませんでしたが、せめてと思い黄色の花で作った花束を準備し、ご両親へ50周年の記念の贈り物として葬儀当日にお渡しして頂くよう、息子様をお願いしました。息子様は突然の花束にびっくりされていました。ご両親の金婚式の贈り物にお伝えすると涙ぐみながらお母様にお渡しくださいました。花束を受け取ったお母様は涙を流しながら感謝の言葉を何度も口にされていて…。黄色い花束は息子様から奥様へ最後はご主人様にたおけられました。それは、さながら感謝の気持ちのバトンのように…。

記念日というのは人それぞれ、ご家庭によっても様々です。誕生・入学・卒業・就職・成人・結婚・歳祝い…。ついつい忘れがちになりますが、記念日という節目をきっかけに特別なことはしなくとも、ご家族でそれまでの出来事を振り返ってみたり、これから築いていくであろう未来を考えてみたり、少し立ち止まってお互いに感謝しあう日にするのも素敵な事なのではないでしょうか。



佐伯政俊

あしがき

一年が過ぎるのもあっという間、今年も残すところあとわずかとなりました。2020年は新型コロナウイルスによる大きな影響を受け、皆様も日常生活を変えざるを得ないこともあったのではないのでしょうか。「新しい日常」に戸惑うことも多かったですが、当たり前前に感謝をする機会も増えたのではないのでしょうか。年の瀬は大掃除やお正月の準備で何かと忙しい日々が続きますが、お体には気を付けて無理をせず希望をもって良いお年をお迎えくださいませ。今年一年まほろばをご愛読くださりありがとうございました。来年も皆様楽しんでいただけるよう、スタッフ一同取り組んでまいりますのでよろしくお願いいたします。



出口秀美

◆ドリーマーではお葬儀前に必ず全てのお見積もりをお客様に提示いたします。
◆ご予算に合わない場合は、予算に合わせて内容の変更が可能です。
◆後で想定外の費用が発生する事はございません。

ドリーマーの
お葬儀費用

お問い合わせ
資料請求

お急ぎの方は
電話にて
対応いたします。

フリーダイヤル
0120-44-5880
365日24時間対応しております。
【通話無料】携帯電話でもつながります。
ドリーマーご自宅出張
無料事前相談実施中 !!

はなだより～クリスマスに贈りたいお花～

12月の代表的なイベントとして思い浮かぶクリスマス。今回は、クリスマスに贈るお花としてぴったりの物をご紹介します。

◎愛する人へ◎

バラ(赤)： クリスマスカラーの赤いバラは、【愛情】【美】【情熱】【熱烈な恋】【あなたを愛しています】など、恋人や愛する人へ贈るのに最適な花言葉を持っています。

ピンポンマム： 【君を愛す】という花言葉を持っており、クリスマスには赤や白を大切な人への贈り物にするのも最適です。

ペゴニア： 【愛の告白】という花言葉を持っており、葉っぱの形がハートのように見えることから【片思い】という花言葉も持っています。

◎感謝の気持ちを込めて、大切な方へ◎

ホワイトレースフラワー： 3つのお花全てに共通するのは【感謝】

ガーベラ(ピンク) という花言葉を持っている事です。

バラ(濃いピンク)

◎尊敬・憧れの気持ちを伝える◎

バラ(白)： 【深い尊敬】という花言葉を持っているので、恋人、愛する

シクラメン： 人、家族、お世話になっている方などへ贈るのもよいです。

(ピンク) 【憧れ】という花言葉を持っているので、そんな気持ちを伝えたい相手に贈るのに最適です。

◎祝福・祈りの想いを込めて◎

バラ(青)： 【奇跡】【神の祝福】【夢かなう】といった花言葉を持っており、お祝いごとを兼ねたクリスマスプレゼントにも最適です。

クリスマスに合わせて、花言葉やプレゼントするシーンに合わせて、お花を贈ってみてはいかがでしょうか。フラワースペースデザイン部



2020年ありがとうございました。
2021年も花だよりを
よろしくお願いいたします。

ちょっとひといき

前回お話した家庭菜園の悩み「豊作」「動物の被害」の他にもうひとつの悩みが雑草です。

地中海が原産だと言われている「ハマスゲ」が菜園に広くはびこっています。ハマスゲは、根っこにイモ(塊茎)がついていて、カビ菌の様に広がり増えるのです。アスファルトを押しつけて生えてくるほど根性のある雑草です(汗)

一株一株を鎌で丁寧に掘り起こし、何度も除草に挑戦しましたが…敗れました。農協に相談し、除草薬を試してみましたが、効果がありませんでした。読者の方でなにか良い退治方法をご存知の方は、是非お教え下さい。よろしくお願いいたします。

私の生活の一部である家庭菜園には、悩みもありますが、楽しい事、うれしい事がたくさんあります。無農薬で新鮮な季節の野菜を食する事ができ、家族の健康維持にも役立っています。妻が、「今日は、畑のホウレンソウを収穫したんよ。」と言って食卓に出してくれた時は、妙にうれしくて、いつになく箸が進みます。又、年に一度の健康診断で、血液検査の結果鉄分の数字が良いと「お父さんが作ったホウレンソウを、たくさん食べたのが良かった」とほめてくれます。そんな時に、本当に家庭菜園をしていて良かったなあ…と思います。

横浜にいる娘や孫には、夏野菜や冬野菜を宅急便で送っています。娘が、「愛媛のじーじの野菜だよ」と言うと、普段は野菜嫌いの孫が、この時だけは良く食べてくれるそうです。

みなさんも家庭菜園はじめてみませんか？まずは夏野菜の苗を買って育ててみてはいかがでしょうか。私のおすすめは、「ピーマン」からです。やわらかくておいしいですよ。今回で私の家庭菜園のお話はおしまいです。長い間お付き合いいただきありがとうございました。



伊藤和久